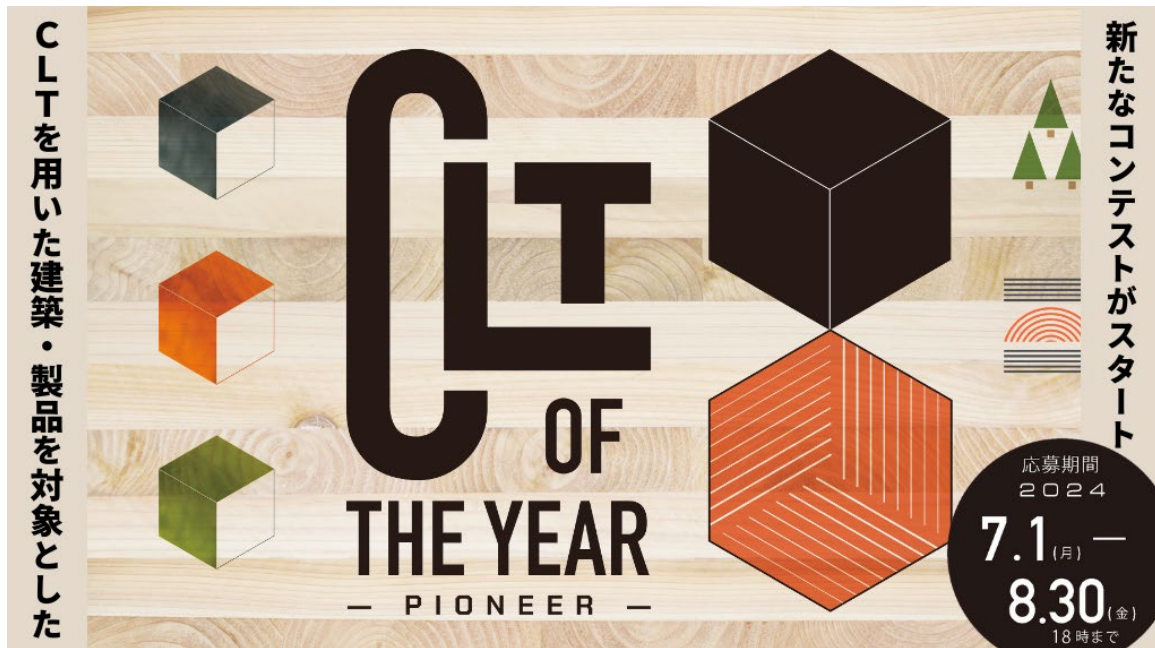


各位

令和6年7月吉日
一般社団法人 日本 CLT 協会

CLTを用いた建築・製品を対象とした新たなコンテスト
「CLT OF THE YEAR」がスタート！！
第1回は、隈研吾特別賞を含む、CLTの革新的な活用を表彰



一般社団法人日本CLT協会は、設立から2024年で10周年を迎えます。この記念すべき年において、CLT（Cross Laminated Timber）を用いた建築の普及と発展を推進するため、「CLT OF THE YEAR」という新たな賞を設立いたしました。本賞は、CLTを活用した建築物および製品の優れた取り組みを評価し、表彰することを目的としています。第1回として、「CLT OF THE YEAR — PIONEER —」と題し、過去10年間に竣工・完成した作品を対象とします。また、世界的な建築家であり、CLT特別アドバイザーを務める隈研吾氏による特別賞も設けられています。

■応募受付期間

2024年7月1日（月）から8月30日（金）18:00 まで ※必着

■応募対象

2014年1月1日～2023年12月31日までに国内で竣工・完成したCLTを用いた建築物および製品

■応募資格

- CLTを用いた建築物および製品の設計者、施工者、施主等関係者
- 個人、企業・団体・グループ単位での応募可
- 審査委員からの推薦

■応募要件

建築の構造形式や製品の種類および使用量は問いませんが、CLTが使用されていることが必須です。

■賞

- 隈研吾特別賞：1点
- CLT OF THE YEAR — PIONEER —：数点
- 優秀賞：数点

CLT OF THE YEARに輝く作品には、賞状と特別デザインのトロフィーが贈呈されます。トロフィーデザインは、美術家の野老朝雄氏によって制作されます。野老氏は「つなげること」をテーマに美術・建築・デザインなど、分野の境界を跨ぐ活動をされ、東京2020オリンピック・パラリンピックのエンブレム「組市松紋」や大名古屋ビルヂングの下層部ガラスパターンなど、数々の代表作を手掛けています。

■審査委員

<審査委員長>

鈴木 大隆 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事

<審査委員>

青木 謙治 東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授

内海 彩 株式会社内海彩・長谷川龍友建築設計事務所 代表取締役/NPO 法人 team Timberize 理事

小見山 陽介 京都大学大学院工学研究科 講師

末光 弘和 九州大学大学院人間環境学研究院 准教授/株式会社 SUEP 主宰

■詳細は特設サイトでご確認ください。

特設サイト URL：<https://clt-oftheyear.com>



■スケジュール

2024年7月1日（月） 応募受付開始



2024年8月30日（金）18:00 応募受付〆切



2024年9月 第1次審査



2024年10月 第2次審査



2024年12月 表彰式

■主催

一般社団法人日本 CLT 協会

【本リリースに関するお問い合わせ先】

(一社)日本 CLT 協会 CLT OF THE YEAR 事務局 担当：小針

TEL：03-5801-9883 E-mail: compe@clta.jp
